

《競技上の注意》

1 ルールについて

本大会は、現行の日本卓球ルールに準じて行います。

2 試合球について

ニッタク、ヴィクタス、バタフライ（Ｒボール）のホワイトボールを使用します。メーカーについては各試合トスで決定してください。

3 審判について

【団体戦】予選リーグは相互審判です。決勝トーナメントは敗者審判です。

予選リーグ2位のチームは決勝トーナメント1回戦の審判をお願いします。

【個人戦】最初の第1試合の審判は本部進行係で指定しますが、それ以降の試合はすべて敗者審判です。なおベスト8決定戦からは審判委員の先生が主審をしますので、選手のみなさんには副審をしてもらいます。

4 違反サービス、パッドマナーについて

1回目は警告レットとし、2回目以降失点とします。

5 タイムアウト制について

【団体戦】決勝トーナメントからタイムアウトを適用します。

【個人戦】ベスト8決定戦からタイムアウトを適用します。

「タイムアウト」は選手か監督、アドバイザーが要求することができます。

6 ゲーム間について

ゲームとゲームの間の時間は1分間です。試合進行の妨げにならないよう厳守してください。各コートにタイマーを準備していますので、審判は計測してください。

7 試合方法について

【団体戦】すべて3点先取とします。1ダブルス4シングルス方式（ダブルスとシングルスは兼ねることができない）で行います。試合の結果は、勝ったチームのキャプテンが本部に報告にきてください。アドバイザーとして、監督以外に当該校の教員・部活動指導員もしくは校長の承認を得た外部指導者のいずれか1名のベンチ入りを認めます。

5台進行で試合を行う場合は、ダブルスの勝敗に関わらず、どちらかのチームが3点取った時点で試合を終了してください。

【個人戦】試合はトーナメントで行います。試合の結果は、勝者が本部に報告にきてください。ベスト8決定戦より選手1名にアドバイザー1名がベンチ入りすることができます。この場合のアドバイザーとは、監督あるいは当該校の教員・部活動指導員もしくは校長の承認を得た外部指導者のいずれかです。なお、試合中の交代は認めませんが、移動はしてもかまいません。また、選手がコートを離れて他のコートのアドバイザーのところへ行くことは禁止です。

競技中のトラブルについて、審判で判断が難しい場合は試合を中断して本部席まで報告に来てください。

（注）応援・マナーについて

時間短縮のため、試合開始のあいさつをしたら、監督のところへ戻ることなく直ぐに試合を始めて下さい。また、試合終了後の相手ベンチへのあいさつも省略しましょう。

また、最近の全国大会では大きな声を出しての応援は相手への威嚇や違反アドバイスとして警告を受けることがあります。拍手中心の応援を心掛ける必要があります。プレー・応援・マナーのすべての面を全国レベルにできるよう、選手・監督・アドバイザー・観客のみなさんのご協力をお願いします。

《進行上の注意》

【団体戦】

団体戦はタイムテーブルにしたがって行いますが、時間はあくまでも目安の時間です。その時間よりも試合が早く終わった場合、次の試合の学校の準備が整い次第、整列して開始して下さい。第1試合のみ挨拶、オーダー交換を放送によって一斉に行いますが、その後の試合は本部からの放送は行いませんので、両学校がそろい次第はじめてください。

共有台を使用可能な場合、共有台でダブルスの試合を行わないようにしてください。

タイムテーブルに著しい遅れが出た場合、準決勝からは、コートを変更して5台進行で試合を行う場合があります。

試合球については、卓球台の横に備え付けてあるかごに入っているものを利用してください。

試合終了後、勝ったチームのキャプテンがオーダー用紙に1ゲームごとの得点まで記入してあることを確認し、本部まで持ってきて結果を報告してください。

また、試合後のベンチ付近でのミーティングや相手チームのへのあいさつは行わないで下さい。

試合がない学校は、2階観客席で待機し、前の試合が終わって整列し始める頃には、次の試合の学校は1階へ下りて準備を始めてください。

開会式が終わり次第すぐに、第1試合で組み合わせの番号の若い数字の学校の選手が、本部まで試合球とタイマーを取りに来てください。

【個人戦】

個人戦はタイムテーブルにしたがって行いますが、時間はあくまでも目安の時間です。その時間よりも試合が早く終わった場合、昼休憩をのぞき、次の試合を開始して下さい。また、自分の試合順をプログラムで確認し、自分の試合の1つ前の試合が始まったら、コートの後ろのベンチに待機しておいてください。なお、本大会の個人戦のタイムテーブルは、試合番号で示しています。

第1試合のみ開始を放送によって一斉に行いますが、その後の試合は本部からの放送は行いませんので、両選手、審判がそろい次第はじめてください。本部からはコート変更がある場合のみ放送します。

試合終了後、勝った選手が結果を審判から受け取り、本部まで持ってきて報告してください。選手が筆記用具で記入する必要はありません。負けた選手は次の試合の審判をお願いしますのでコートをはなれないでください。次の試合の審判が、昼食休憩・コート整備をはさむ場合は、放送で呼ばれるまで、2階席で待機しておいてください。

第1試合の審判のみ組み合わせの番号を四角で囲んでいる人に指定されています。**自分が試合をするコートを確認し、すべての地区の練習時間が終了したら、すぐに本部まで試合球とタイマーを取りに来てください。**